

平成 26 年 1 月 24 日

B023 「腹膜播種を伴う胃癌に対する一次治療としての S-1/オキサリプラチン+パクリタキセル腹腔内投与併用療法」(東京大学医学部附属病院) ならびに

B024 「腹膜播種を伴う胃癌に対する一次治療としての S-1/オキサリプラチン+パクリタキセル腹腔内投与併用療法」(東京大学医学部附属病院) についての意見書

技術委員 高橋信一

本日の先進医療技術審査部会を欠席させていただきますので、書面にて意見を述べさせていただきます。

B023、B024 とも実施責任医師などの体制、ならびに実施医療機関の体制に問題を認めません。また医療技術上、腹膜播種を伴う難治性胃癌の新たな治療法を開発するというもので大変有用であると考えます。

以上のことから、B023、B024 を先進医療技術として認めることに差し支えはないものと判断いたしました。

以上